



「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

月刊 あじえんだ 7 月

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信

月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です



京のアジェンダ21フォーラム事務所

〒612-0031

京都市伏見区深草池ノ内町13

京エコロジーセンター2F 活動支援室内

TEL: 075-647-3535

FAX: 075-647-3536

E-mail: ma21f@inbox.kyoto-inet.or.jp

開室時間: 10時～18時45分(木・日休室)

アクセス: 京阪電車「藤森」西へ徒歩5分

地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分

市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ



6月5日2009(平成21年)年度 京のアジェンダ21フォーラム総会 ～11年目を迎え、「環境モデル都市・京都」の実現を目指して～ 事業計画・予算等の議案を承認

2009年6月5日(金)、「職員会館かもがわ」にて京のアジェンダ21フォーラム2009年度総会を開催。右記の全議案が承認されました。

○ 2009(平成21)年度総会 議案 ○

- 第1号議案 2008(平成20)年度事業報告について
- 第2号議案 2008(平成20)年度収支決算について
- 第3号議案 2009(平成21)年度事業計画について
- 第4号議案 2009(平成21)年度収支予算について
- 第5号議案 幹事及び監事の選任について

■ 開会挨拶 京のアジェンダ21フォーラム代表 内藤正明



今年は例年と違いCOP15でポスト京都について議論される年です。フォーラムは京都議定書の目標を実現するための実行機関として立ち上げた経緯がありますが、削減目的は達成できそうにない状況です。一方で、高い目標を掲げている諸外国と、対応の遅れている日本政府の狭間にいる京都市は、独自に「ゼロ・カーボン都市」を掲げ、はっきりした意思表示を行っています。

この様な背景を踏まえて、これまでの延長線上では無く、高い目標に向けて新たな気持ちで全力で取り組んでいきたいと思っております。会員の皆さまのご支援を頂きます様お願いいたします。

■ 事業計画・収支予算【基本的な考え方】

1998年のフォーラム設立以降、徐々に、市民の地球環境問題への意識が高まり、大幅に温室効果ガスの排出を抑制する実効性のある地球温暖化対策を行う流れが出来つつあります。

その一方、日本政府の地球温暖化対策は、根本的な対策が示されていないことがしばしば指摘されており、また、今年デンマークで開催される「気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)」は、京都議定書後の新たな枠組みを決定するための重要な会議ですが、各国の利害関係から温室効果ガスの削減に関する交渉は難航が予想されています。

今年度、フォーラムでは、これまでの活動成果や、社会の地球環境問題への意識の変化を踏まえ、今一度フォーラムの5つの重点取組を再確認した上で、「環境モデル都市・京都」実現に向けた本年度の重点取組(p.2に掲載)を各主体とのパートナーシップで実施し、「京都議定書のまち 京都」として日本や世界に地球温暖化対策の必要性を発信していきます。



京のアジェンダ21 5つの重点取組

- ①省エネルギー・省資源のシステムづくり
- ②グリーン・エコノミック・ネットワークづくり
- ③エコロジー型新産業システムづくり
- ④エコツーリズム(環境調和型観光)都市づくり
- ⑤環境にやさしい交通体系の創出

2009年度の重点取組

- 1 京都市の「環境モデル都市・京都」における中長期目標（2030年までに1990年比で温室効果ガス40%削減、2050年までに60%削減）の実現に向けた中長期展望を策定し、京都市地球温暖化対策条例の見直しに向けた取組を各セクターと協働で行う。
- 2 「5つの重点取組」を再確認し、交通やエネルギー、コミュニティづくり等の温室効果ガス削減に効果的な取組を強化するとともに、「温室効果ガス削減の『見える化』」に着手する。また社会情勢を反映し、「地産地消」、「生物多様性保全」の取組を充実させる。
- 3 「京のアジェンダ 21」を市民に広く知らせ、持続可能な京都のまちづくりへの主体的な参加を促進するために、社会的インパクトのある広報活動の実施等、フォーラムの活動の「見える化」を行う。

会員交流会「サロンdeエコ」開催

【2009年6月5日（金）開催】

2009年度フォーラム総会（p.1記事）に引き続いて会員交流会「サロンdeエコ」を開催し、40名余りの会員の参加がありました。

開会にあたり、内藤代表より「これまでの延長線上ではなく、腰を据えて、実効性のある脱温暖化の取組を進めていきましょう」との挨拶がありました。その後、会員同士の互いの活動紹介や幹事を交えた交流が行われました。



■ 2009年度のプロジェクトへの参加を呼びかけ

交流会の中で、フォーラムの2009年度の2つの活動への参加呼びかけが行われました。

田浦幹事（特定非営利活動法人気候ネットワーク 事務局長）からは「中長期展望の策定や、そのための具体的な方策の検討プロジェクト」について、「フォーラムではこれまで様々な主体のパートナーシップでKESの創設などの取組を行ってきた。しかし今回の中長期ビジョンの策定は、過去に実施した京都市地球温暖化対策条例プロジェクトもそうだったが、市民には内容が難しいことという課題がある。現在、温室効果ガスを50～70%削減しなければ私たちも生存できなくなる、というくらいの危機的な状況なので、多くの方に関心を持ってもらい、中長期ビジョンの策定の過程にご参加いただきたい。」という呼びかけが行われました。

続いて、「京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクト」について、長屋プロジェクトリーダー（有限会社村田堂 取締役）からは、「KESCは参加者にとって苦労がある反面、大きな充実感・達成感を得ることができる活動。今年は、新しい内容、新しい地域でも活動を行う予定。ぜひご参加ください。」という呼びかけが行われました。（詳細は p.3 記事参照）



.....

参加者からは、「このような環境に取り組む主体の交流の場は貴重だ」、「フォーラムの活動に参加したい」といった前向きな発言や、「もっとNPOの参加が必要ではないか」といった提案も聞かれました。久しぶりに顔を見せてくださった会員もおられ、それぞれの活動内容や課題、近況報告やフォーラム活動への感想など、話の輪がいくつもできました。

宇宙から夜の地球を撮影すると、国土の輪郭がはっきり解るほど、日本は夜も明るく照明に照らされたエネルギー多消費国です。ところが、総会終了後の6月10日に、麻生太郎首相から発表された2020年の温室効果ガス排出削減の中期目標は「2005年比で15%減（1990年比7%減）」という低い数値でした。それに対して京都市では、独自の中長期目標「2030年までに1990年比で温室効果ガス40%削減、2050年までに60%削減」を掲げています。フォーラムでは、オール京都で、「京都から日本を変える」ことを目指し、地球温暖化防止に向けた活動を行っていきます。会員の皆さん、ぜひフォーラムの活動にご参加ください。

3 京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト

2009 年度は、5 つのプロジェクトを実施します。

数回に分けて、各プロジェクトを紹介していきます。今月号では、③京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクトの内容を紹介いたします。

○ 2009 年度プロジェクト ○

- 1 バスと電車でecoグルメ
- 2 家庭の省エネルギー対策プロジェクト
- 3 京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト
- 4 京グリーン電力制度
- 5 中長期展望の策定や、そのための具体的な方策の検討

■ 事業者・学校・住民が連携して環境コミュニティを作ります

フォーラムでは 2006 年度より、京都の小学校区を基本としたそれぞれの地域で、地域の事業者、学校、住民などの各主体が協力して、環境問題に取り組む仕組みづくりを目指す「京都環境コミュニティ活動 (KESC) プロジェクト (以下、KESC と言う)」を実施しています。



昨年度は事業者、NPO、一般市民から成る 4 チーム (自然エネルギー環境学習チーム (伏見区)、交通環境学習チーム (中京区・右京区)、市民共同おひさま発電所づくりチーム (伏見区)、水源の森づくりチーム (右京区)) が活動を行いました。

新チームはもちろん、既に活動している 4 つのチームへの参加も歓迎です。それぞれの持ち味・得意技を活かし、チームの仲間との連帯感、充実感と達成感を得られる KESC プロジェクトに、ぜひふるってご参加ください。

(これまでの活動は、フォーラム Web ページ <http://ma21f.jp/> をご覧ください。)

1 つでも当てはまったら是非この機会にご参加を!

- 子どもが好き!
- KES を取得したが、社内での活動だけでなく、何か社会貢献をしたい!
- 環境 CSR 活動に興味はあるが、1社だけで行うのは不安。
- KES や ISO において紙、ゴミ、電気の削減の取組を一通り行い、次の新しい活動を始めたい。
- 社内で KES の活動を浸透させたい!
- 地域の人たちに、自社の活動内容や、「私たち (働く人と暮らす人) にできる環境保全活動は何か?」を、子どもを通して知ってもらいたい!
- 異業種の人たちとコミュニケーションをはかりたい!

事務局動静

事務局スタッフの動きを報告します 5/16 - 6/15

5月	20日(水)	自然エネルギー WG 運営会議
	22日(金)	京グリーン電力制度打合せ/えこまつり WG 学習会
	23日(土)	こどもエコライフチャレンジ会議
	29日(金)	KESC2009 年度プロジェクトチーム会議
6月	1日(月)	事業者向け環境学習セミナー
	10日(水)	KESC 市民共同おひさま発電所づくりチーム会議
	13日(土)	家庭の省エネ相談所 (社団法人京都青年会議所「6月例会」)
	15日(月)	事業者向け環境学習セミナー

京グリーン電力制度では、京都市内の太陽光発電設備で作られた電力の持つ、環境にやさしいという価値“環境付加価値”を、証書の形にして、京都市内で事業活動やイベントをされる事業者・行政等に販売しています。売上代金は、太陽光発電の普及のために役立てられます。この“環境付加価値”をフォーラムに提供し、京グリーン電力制度にご協力くださっている発電設備を紹介します。

● むそうおひさま発電所

- ・所在地 京都市右京区常盤窪町 1-16
学校法人むそう学園 夢窓幼稚園
- ・所有者 学校法人むそう学園 夢窓幼稚園
- ・提供量 (2008 年度計 8,700kWh 相当量)

夢窓幼稚園は 1954 年に設立され、2004 年に「おひさま発電所」を設置しました。便利になり、慌しく情報が行き交う社会の中で、埋もれることなく、未来に向かって自分の道を探し求めていけるように、幼い子どもたちも、共に生きる大人たちも、「ゆったり、ゆっくり」過ごすことのできる環境を作り出し、出会いと人間の尊厳を受け止め合う場を目指しています。



「玄米自然食による給食」、のびのびと遊びながら、共同の生活や遊びを自由に作っていく「自由保育」、年代が違う友達の中で自分の役割を見つけ、お互いを認め合う気持ちや社会性を育てる「縦割保育」、自由な意識のもとでの「キリスト教主義」、「子どもとお母さん・お父さんと先生がともに生きる場」を柱に保育を行っています。

【写真 上：夢窓幼稚園 外観、下：同表示盤】



● あけぼのおひさま発電所

- ・所在地 京都市伏見区醍醐大構町 1-5
社会福祉法人曙福社会 あけぼの保育園
- ・所有者 社会福祉法人曙福社会 あけぼの保育園
- ・提供量 (2008 年度計 9,200kWh 相当量)

1965 年に設立された、あけぼの保育園では、「体験こそ無言の教育」を保育の柱とし、あたたかな環境、様々な人間関係の中で、子どもたちの個性や発達、心の育ちを大切に受けとめ、一人ひとりに寄り添った細やかな対応を心がけています。

2002 年に「おひさま発電所」を設置する以前から、落葉広葉樹を植えて日照をコントロールしたり、野菜作りや、建物に自然の風が入りやすいように工夫するなど、人と自然にやさしい施設を目指してきました。今では雨水タンクの設置や、ごみが出ないように工夫した「エコ夏祭り」の実施などの取組も行っています。地球にやさしい環境づくりを提案し、その意義を発信していく役割を担っていきたいと考えています。

【写真 左：あけぼの保育園 外観、右：同「おひさま発電所」】

事務局短信 毎年 7 月、祇園祭の宵山の日には四条通は歩行者天国になり賑わいます。まちなかの歩道が広くになると「歩いて楽しい京都」が実現しそうで楽しみです。(西本雅則) / 気付かない間に、マンションのベランダに、鳩が巣を作っていました。びっくりしましたが、ずっと卵を温めているお母さん鳩を見ていると、健気なものです。卵がかえる日が待ち遠しいです。(小山直美) / 梅雨だというのに、雨が少ないですね。最近、日本各地でミツバチ、カラスの大量死が発見されています。これも地球温暖化の影響でしょうか? 果物農家の方は、手作業で受粉作業に大忙し。どうか、秋のおいしい果物が不作にならないように…。(池田周子) / 京都の夏は暑い! と梅雨時期から思い始めます。年々暑さが増している様に思います。それとは裏腹 …… 日中の気温と朝晩の気温の差の大きさが、ここ数年夏でも感じられます。異常気象は文明との引換に、人間に与えられた代償でしょう ……。(上野かおる) / 省エネ、エコポイントで世の中賑わっていますが、我家では未だブラウン管テレビながら「エコサイズ」で省エネに参画しています。エコポイントのために、“省エネ”のつもりが“消(費)エネ”の拡大にならないようにと心配するのは、ひがみでしょうか…。(小西賢人)